

韓国で口蹄疫が発生！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2018年3月に13か月ぶりに豚で口蹄疫（A型）の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています！



2000年 → 2000年

2002年

2010年 → 2010年
2011年

2014年
現在

侵入する可能性
は非常に高い！！

韓国における口蹄疫の発生状況

(2018年3月以降)

2018年4月2日現在

京畿道(2件)

3月26日 金浦(キンポ)市 豚（A型）
3月28日 金浦(キンポ)市 豚（血清型検査中）

● : 発生地点

○ : 潜伏地図

発生確認件数:2件
(A型:1件、血清型検査中:1件)

※ 日は症状の発現日又は検体の採取日
(韓国農林畜産食品部資料より)

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両**の消毒を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽等を設置**することにより、**出入りする人の靴底の消毒**を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航**は可能**限り控える**とともに、これら国の農場からの郵便物等は**衛生管理区域**に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察を行いましょう。



効果的な消毒を実施しましょう！

◎ 効果的な消毒のポイント

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていたら、直ちに交換しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分や運転席の足元スペースも可能な限り消毒しましょう。

《要注意》

★ 逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適です！

★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



② 消毒液
の槽
↑
① 水洗
の槽

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



～豚の症状～



< A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果 >

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変を確認



毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

中濃家畜保健衛生所 ☎ 0574-25-3111

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてくださいながらない場合は 0574-25-3484

土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます